

日本原子力学会 第 139 回倫理委員会  
議事録

1. 日 時：2023 年 8 月 8 日（火）15:00～17:50
2. 場 所： Web 会議
3. 出席者：大場委員長、手柴副委員長、神谷幹事、伊藤(公)委員、伊藤(聡)委員、金谷委員、  
塩満委員、菅原委員、出町委員、中野委員、中村委員、福家委員（委員 12 名中 12 名出席）  
後藤特別委員、小林特別委員  
オブザーバー 藤田氏
4. 資 料：
  - 倫 139-1 前回議事録（案）
  - 倫 139-2-1 倫理委員会活動計画
  - 倫 139-2-2 倫理委員会役割分担表
  - 倫 139-3 委員の承認等について
  - 倫 139-4 2023 年秋の大会企画セッションについて
  - 倫 139-5 2024 年春の年会企画セッションの企画・準備について
  - 倫 139-6 倫理規程改定検討シート
  - 倫 139-7 倫理委員会が取り組むべき事項について
  - 倫 139-8 会員からの申し出案件について
  - 倫 139-9 倫理委員会関連規則について

5. 議事概要：

(1) 前回議事録について

神谷幹事から資料 139-1 に基づき説明があり、内容について特に異議はなく、了承された。なお、一部誤記については幹事が修正する。

(2) 委員候補の承認等について

大場委員長から、資料 139-3 に基づき、原子力機構 伊藤聡美氏の委員就任が 8 月 4 日理事会で承認されたこと、金谷委員の委員退任について報告があった。また、日本原燃 大久保哲朗氏と原子力機構 藤田博喜氏から倫理委員会委員への立候補があった旨の説明があり、それぞれの立候補届出に基づき、専門分野、立候補理由について確認をした。その後、決を採り、両名について出席者全員が了承し、両名の委員就任について了承された。今後、理事会での承認に向けて、幹事が諸手続きを進めていくこととした。

委員会のグループメーリングリストについては、新しい理事委員、特別委員の方の確認もしたうえで、担当である中野委員が更新していくこととした。

(3) 活動計画および役割分担について

手柴副委員長から資料 139-2-1、139-2-2 に基づき説明があった。主な議論等は以下のとおり。  
・更新ができていない箇所は、委員会終了後に速やかに更新する。

- ・技術倫理協議会の予実績：115回 6/19、116回 7/30、117回 8/28
- ・2024年秋の大会企画セッションについては、主：大場委員長、副：福家委員、2025年春の年会企画セッションについては、主：中村委員とした。

#### (4) 2023年秋の大会企画セッションについて

中野委員から資料139-4に基づき説明があった。主な議論等は以下のとおり。

- ・講師から予稿の提出を受けたが、内容がざっくりとしているので、講演内容が固まる8月末頃に、講師との打合せを実施予定。
- ・講師1名で約60分の講演となるので、学会規程に基づき、謝金と必要な旅費について支給することを承認した。なお、必要な交通費については、中野委員から講師に再確認することとした。
- ・アンケートの事前作成、当日の役割分担等について確認をした。アンケートは、QRコードによるWeb回答と紙による回答を併用する方式とする。
- ・なお、従来通り、会場では事例集の案内チラシを配布することにするが、当該事例集に記載の倫理規程は2014年改訂版なので、チラシにその旨が分かる断り書きを記載することとした（幹事対応）。また、事例集の販売の際に、同様に、事例集記載の倫理規程が最新版ではないことの断り書きを挟み込むか、検討することとした（委員長対応）。

#### (5) 研究機関の安全文化について

伊藤委員から資料139-5に基づき2024年春の年会企画セッションの案について説明があり、引き続き検討を進めていくこととした。主な議論は以下のとおり。

- ・長年にわたって「研究機関の安全文化」というテーマで議論してきたが、企画セッションのテーマ案ではそのことが分からない。
- ・テーマの記載については、委員会からの講演内容も踏まえて、引き続き検討していく。

#### (6) 次回倫理規程改定に向けた検討について

神谷幹事から、前回委員会資料138-5に基づき検討の進め方について再説明があり、引き続き、資料139-6に基づき、各委員から提出のあった倫理規程改定検討シートについてそれぞれ説明があった（神谷幹事、伊藤(公)委員、金谷委員、菅原委員、福家委員、大場委員長、手柴副委員長）。

当面は、今回と同様の作業を継続することとし、各委員で検討個所の抽出を進めることとした（今回提出シートのブラッシュアップも含む）。また、この作業を進める中で、横通しの論点についても整理していくこととした（例：行動の手引の内容重複箇所の統合、自分事として考えることのできる文言への修正等）。

#### (7) 倫理委員会の活動内容について

前回委員会で委員長から提起のあった倫理委員会として取り組むべき活動、新たな施策等に関連して、出町委員から資料139-7に基づき、ビデオコンテンツの製作と倫理ストレステストの提案があった。

今回提案の内容も含めて、あらためて委員長からアイデアや意見を募る依頼メールを配信し、

引き続き議論していくこととした。

(8) 会員からの申し出案件について

神谷幹事から、倫理委員会に対して会員から調査依頼の申し出があった件について資料 139-8 に基づき説明があり、また、事前に 3 役で検討した対応方針について説明があった。コメント等があれば一両日中に幹事に連絡することとし、特段のコメントがなければ説明した方針で申し出をされた会員への対応を進めることとした。

(9) 倫理委員会関連規則について

神谷幹事から資料 139-9 に基づき、倫理委員会関連規則について共有を行った。なお、倫理委員会規程の改定については、8 月 4 日の理事会で承認された旨の報告があった。

大場委員長から、倫理委員会規程に基づき、委員会の任務等について説明があった。

6. 次 回：10 月開催とし、別途調整することとした。

以上